

活動事例

産業界支援

埋蔵文化財調査への協力

支援先

茨城県教育財団

【背景】

那珂市瓜連にある保土通（ほどとおり）遺跡から、近世の窯跡や窯道具が見つかったため、郷土の歴史に対する学術的研究資料の解明について支援しました。

【支援内容】

出土した椀から 19 世紀時代と判明し、同時期に興った町田焼（旧水府村）、七面焼（水戸市）のほか、全国的な窯道具の種類や呼称、使い方、材料などの情報提供をしました。7 種類の窯道具 67 点を検証したところ、9 代水戸藩主の徳川斉昭が陶器生産による殖産興業をめざし、陶土のある候補地を探していたことから「候補地の一つとした」という可能性が高いことがわかりました。

【事例成果】

この活動事例は「茨城県教育財団文化財調査報告第 355 集」にまとめられています。



基礎となった事業

都市計画道路平野杉本線道路整備事業地内埋蔵文化財調査（常陸大宮土木事務所）

現在の担当部門

工芸技術部門

部門長

佐藤 茂

TEL:0296-72-0316

主任

久野 巨央

活動事例

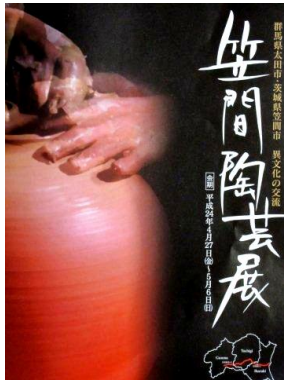
PR 活動

笠間陶芸展での展示会開催支援

支援先

群馬県太田市観光協会

【内容】



北関東自動車道開通に伴う交流記念事業を利用して、笠間焼の知名度向上の課題解決のために群馬県での PR 活動など積極的に交流を持つ活動を行いました。

■名称：北関東自動車道開通交流記念「笠間陶芸展」

(<http://www.city.ota.gunma.jp/270kouhou/2012/files/0420001.pdf>)

■会期：4月27日（金）～5月6日（日）午前10時～午後5時

■会場：太田市学習文化センター 展示ギャラリー

■内容：人間国宝・松井康成氏の作品を含む40点の展示・解説  
笠間焼の歴史等のパネル紹介  
笠間焼製作工程の実演・体験指導

■来場者数：3,000人



記念式典会場



作品展示会場



実演・体験会場

基礎となった事業

平成 24 年度 試験研究指導費（標準）

現在の担当部門

工芸技術部門

部門長

佐藤 茂

TEL:0296-72-0316

主任研究員

常世田 茂

主任

久野 巨央